

## 鴨川市人口ビジョン及び鴨川市まち・ひと・しごと創生総合戦略の 策定に向けた市民等の意向の把握の状況

### 1 地区別区長等市民懇談会

#### (1) 開催状況

開催地区	日 時	参加者数	うち若年者数	備 考
鴨川地区	平成 27 年 7 月 6 日	79	2	うち市職員 31 名
長狭地区	平成 27 年 7 月 14 日	89	2	うち市職員 31 名
江見地区	平成 27 年 7 月 15 日	74	1	うち市職員 31 名
天津小湊地区	平成 27 年 7 月 17 日	80	4	うち市職員 31 名
計		322	9	

※若年者数は、30 代以下の若年者数(受付簿より集計)

#### (2) 寄せられた主な意見

開催地区	意 見
鴨川地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートで若者の意識調査するのではなく、参加者が市と対等なレベルで話し合える場を作って欲しい。</li> <li>・若者の意見を聞くなら、懇談会などは昼間開催してはどうか。</li> <li>・旧小湊中学校への児童発達支援センターの早期開設を希望する。</li> <li>・自治会の加入率について市はどう考えているのか。また今後の展望はいかがか。</li> <li>・海洋深層水の活用を図るため、パイプラインを引き、ウニなどの養殖を行ってはどうか。</li> </ul>
長狭地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時の避難場所となる旧主基小学校について、校舎の耐震補強を行ってはどうか。</li> <li>・旧小湊中学校への児童発達支援センターの開設を希望する。</li> <li>・若者が市内に残らない。市外から若者を呼び込むために、市独自の施策を示してはどうか。(例 市外からの起業家へ住宅・事務所を無償貸与)</li> </ul>
江見地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業誘致状況はどうなっているのか。具体的な施策はあるのか。</li> <li>・観光地として駐車場や道路の整備ができていない。松島などは駐車場がない。整備を検討して欲しい。</li> <li>・少子高齢化の対策と実績について教えて欲しい。</li> <li>・旧小湊中学校への児童発達支援センターの早期開設を希望する。</li> <li>・若者の生の声を聞く場を設けて欲しい。懇談会にも若者が来ない。</li> <li>・江見公民館を観光・交流ができる施設にして欲しい。</li> <li>・旧江見幼稚園を高齢者や市外からの転入者、子どもたちの交流サロンにしてはどうか。</li> <li>・旧江見幼稚園を図書館にしてはどうか。</li> <li>・旧江見小学校をケア施設にしてはどうか。</li> </ul>

	・人口減少問題については、地元就職できるようにすればいいのではないか。
天津小湊地区	・旧小湊中学校について、地区住民が使用できるよう早期の活用を。 ・集落消滅の危機感をもっているため、四方木地区の活性化のサポートをお願いしたい。 ・子育て世代や若い人たちへの支援はどのようなものがあるのか。 ・「本市の強み」として東京から 2 時間とあるが、個人的には遠いと思う。鴨川の自然にどう付加価値をつけるかが大事だと思う。

## 2 アンケート調査の状況

### (1) 高校生・専門学校生・大学生の進路及び定住に関する意識・希望調査

若年世代の進路及び定住に関する意識・希望等のアンケート調査

・回答期限:平成 27 年 7 月 31 日(金)

・対象者:市内の高校・専門学校・大学の在学者で、最終学年直前の年次の者  
※鴨川市民に限らず、該当者全員を対象とする

・対象者数:約 420 名

対象校・学部等	学年	人数
千葉県立長狭高等学校・普通科	2	162
文理開成高等学校・普通科	2	38
亀田医療技術専門学校・看護学科	2	92
亀田医療大学・看護学部・看護学科	3	80
城西国際大学・観光学部・ウェルネスツーリズム学科	3	47

### (2) 結婚・出産・子育て、定住に関する意識・希望等市民アンケート調査

18 歳から 49 歳までの市民を対象に、結婚・出産・子育て及び定住に関する意識・希望等を把握するためのアンケート調査

・回答期限:平成 27 年 8 月 4 日(火)

・対象者:市内在住の 18～49 歳の男女(未婚者及び既婚者)  
住民基本台帳より 1,000 名抽出

### 3 地方創生に関するアイデアの募集

#### (1) 提案者数(7月31日現在)

提案者数(延べ人数)	
	うち市外
21名	6名

#### (2) 寄せられた意見(要約)

募集テーマ	意見
<p>鴨川市での安定した雇用を創出するために</p>	<p>・空き家を利用した施設を整備し、移住の受入れを行うと共に新たな雇用の場の創出を図る。</p> <p>現在、定年を迎え第二の人生を歩んでいる。ふるさと鴨川に戻り就職をしたいと思うが高齢だと難しい面も多い。こういう人は大勢いると思う。</p> <p>給料の問題ではなく、社会との関わりを持ちたい、貢献したいという気持ちが強い。市内の空き家等を活用し、退職をされた高齢者や介護の必要な人々の受入れを行い、新たな仕事づくりや、我々が簡単な手伝い、奉仕ができるような仕組みがつかれないかと考える。</p> <p style="text-align: right;">(60代 男性)</p>
	<p>・鴨川の農業を元気にする。</p> <p>長狭米に頼っているが、品種改良等により各地でうまい米が数々現れ、競争力がなくなってきている。また、米作自体、収益性が低く、新たな若者の就業は難しい。近代的農業団体組織を設立し、新たな野菜や花などの特産品づくりを進めるべき。</p> <p style="text-align: right;">(80代 男性)</p>
	<p>・運転免許などの資格を取れない人達の働く場の創出</p> <p>眼科、内科などで運転免許などの資格が取れない人はなかなか働く場所がないので、市などで働き場所を作って欲しい。</p> <p style="text-align: right;">(40代 男性)</p>
<p>鴨川市への大きな人の流れを創るために</p>	<p>・お盆の期間中、市内外から参加のできる盆踊り大会を開催し、集客を図ったらどうか。</p> <p>若者達の心に残るイベント、若者たちが地域を自慢できるような全国レベルのイベントに育てていくことが大事。</p> <p style="text-align: right;">(70代 男性)</p>
	<p>・鴨川市は海と自然と温暖な気候すべてがある市、カリフォルニアの風が一番に届く房総！</p> <p>もっとPRし、イメージアップを図ることを提案する。</p> <p style="text-align: right;">(60代 女性)</p>

	<p>・空き家を活用し、畑付きの居宅を安く貸し出して、都会からの移住者の増加促進を図る。</p> <p>空き家のリフォーム等費用のかかる部分もあるが、若い家族を安い費用で呼び込むこともできる。田舎のほうが絶対に生きやすいし、子育てもしやすい。</p> <p>(60代 女性)</p>
	<p>・花一杯の鴨川づくりを(保台ダムの活用)</p> <p>観光の鴨川だが、街中にも花が咲いていることもなく寂しい。花一杯の鴨川にしたい。鋸南では河津さくらと水仙が有名になり、多くの人を訪れる。</p> <p>鴨川では、保台ダムがうまく活用されていないので、この周辺の植栽やウォーキング道の整備などによる環境整備を行い、集客を図ったらどうか。</p> <p>(80代 男性)</p>
	<p>・大学、自衛隊、消防学校などの誘致(公共交通の整備も含め)</p> <p>現在、市内では農業も漁業も商業も頭打ち。まずは人員増を図ることが大事だと思う。大学や自衛隊、消防訓練校等を誘致すれば若い人たちの流入が図れるし、これに伴う消費の拡大、空き家の解消などにも繋がる。</p> <p>そのための環境整備として、JRの複線化や都心とのアクセスの改善などにも取り組むべき。</p> <p>(80代 男性)</p>
	<p>・内陸の都市との観光交流促進</p> <p>鴨川の観光宣伝の一つの方法として、海のない都市との交流を深め、イベントへの相互参加などを行い、PRをするべき。</p> <p>(80代 男性)</p>
	<p>・空き家利用(貸家等)による移住促進</p> <p>市内の空き家が増加傾向にある。所有者との調整により、一時的に借家にする、移住者に斡旋する等の方法により活用すべき。</p> <p>(80代 男性)</p>
	<p>・住みやすい街づくりへ(マナーやコミュニティの再構築を)</p> <p>鴨川市は観光地になったせいか様子が今までと変わってきたと思う。また、人の出入りが多くなったためにマナーが悪くなったように感じる。</p> <p>少子高齢化の時代に入り、人との対話も難しくなり、住みづらくなってきたと感じている。</p> <p>(60代 男性)</p>

	<p>・鴨川 88 箇所 椅子めぐり(スタンプラリー)</p> <p>鴨川市の旧市街地が寂れていてとても気がかりである。交流人口による賑わいを創出するには、いかにして人の流れを誘うか、一見客で終わらずに何度でも訪れてもらえるリピーターの定着を目指した取組みが必要だと思い、その一つの取組みとして鴨川 88 箇所椅子めぐりを提案する。</p> <p>駅や市内に点在する観光施設などに趣のある椅子を配し、椅子巡りコースを設定する。この 88 箇所をめぐるスタンプラリーを実施し、達成者には特産品や食事券等のプレゼントを行う。</p> <p>椅子へのコンセプトは、憩い、視野、瞑想、語り、一休みできる場所。</p> <p style="text-align: right;">(70 代 女性)</p>
	<p>・新たに友好都市提携し、交流による相互発展を目指す。</p> <p>鴨川市には海があり、一年中温暖で、これを活かした漁業、農業、観光などすばらしい資源がある。</p> <p>これを活用し、都市間交流の中から、住民同士の交流、訪問等を通じ、地域のすばらしさを体感してもらうことが重要であり、こうしたことの延長に、鴨川市の製品の新たな販路や移住があると考え。</p> <p>【友好都市の候補案】</p> <p>長野県東筑摩郡麻積村</p> <p>宮城県大崎市 など</p> <p style="text-align: right;">(70 代 男性)</p>
	<p>・鴨川霊場めぐりコースを設定し、観光資源に取り入れる。(宿泊型観光)</p> <p>地域活性化の一つの形態に霊場めぐりがある。全国的に有名なのは四国の巡礼であるが、鴨川市でも日蓮の遺跡をはじめ、神社仏閣を中心にたくさんの霊場、霊蹟があり、新たな地域おこしのテーマとして検討の余地があるのではないか。</p> <p>白衣と杖をついたお遍路さんが大きな鴨川おこしの資源となる可能性がある。</p> <p style="text-align: right;">(80 代 男性)</p>
	<p>・中学生修学旅行の里づくり</p> <p>旅行の募集は難しい。しかし、海なし県をターゲットとした、中学生の修学旅行の募集なら可能ではないか。</p> <p>南房総全体でコースを組めば、南房総の花畑や館山の里見城、鋸南町の鋸山など2泊は確保できる。地域のガイド付きで車内食には「おらが井」を使用する等の工夫をすれば地域おこしにも繋がるだろう。</p> <p>題して房総歴史散策の旅はどうか。</p> <p style="text-align: right;">(80 代 男性)</p>

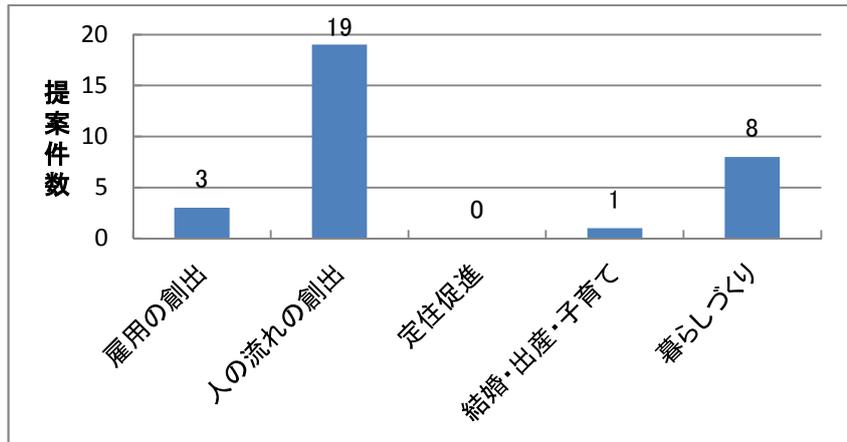
	<p>・観光ガイドクラブ創設による観光ガイド派遣 観光の3要素は、見る、遊ぶ、食べるといわれるが、これに「聞く」という要素が加わればさらに充実する。 観光案内所に申し込めばいつでもコースに精通したガイドを派遣してくれる。こうした仕組みをつくっていくことが大事だと考える。</p> <p style="text-align: right;">(80代 男性)</p>
	<p>・農産加工品株式会社設立による農業振興を図るべき 今日本の抱えている問題は、人口減少と農業の凋落である。地域の働き場の確保を図るため企業誘致に取り組んできたが、多くは失敗に終わっている。これからは、地元の農産物を利用した加工会社を立ち上げ、地域の振興と雇用の確保を図ることが必要ではないか。 味噌、たまり醤油、食酢、麴などなど数え上げればきりが無い。販売先も、大手スーパーチェーン、コンビニなど様々なものがある。 農業が元気になり雇用が生まれれば鴨川も元気になる。</p> <p style="text-align: right;">(80代 男性)</p>
	<p>・コミュニティバスの検討 市内コミュニティバスを観光にどう結び付けるか研究する必要がある。</p> <p style="text-align: right;">(80代 男性)</p>
	<p>・貸農園の普及、それに伴う空き家、学校跡地の利活用。 現在、棚田ではオーナー制度を実施しているが、市内にはその外にも多くの遊休農地がある。これを、都会の人のレクリエーションを兼ねた貸し農園として整備すべき。宿泊は、空き家や遊休学校施設などを活用すれば賄え、これが将来の移住に繋がる可能性もある。</p> <p style="text-align: right;">(80代 男性)</p>
	<p>・嶺岡林道沿いの整備・開発による新たな観光資源の開発を行うべき お隣の南房総市の酪農の里から嶺岡林道を経て一戦場公園に繋がるコースを再整備すべき。 この間には、旧水田家住宅や西分校跡地などの旧跡があるうえ、この一帯が古代牧の史跡であり、今後観光資源化できるものも多い。加えて、付近には昔、里見の城があり、里見氏全盛の時代には長狭統治の拠点であった。 この地に嶺岡里見城を作れば新たな観光拠点となるし、また、道の両脇の樹木を伐採することにより、両側の眺望が開け、スカイラインの眺望が楽しめる。 こうした面的な繋がりを持つことにより、一戦場公園や女神像ももっと生きてくる。</p> <p style="text-align: right;">(80代 男性)</p>

	<p>・米国マサチューセッツ州ケープコッド、ケープアンのような観光都市づくり ボストンの下側にケープコッドという観光地があり、その上にケープアンがある。ケープコッドは伊豆のような雰囲気、ケープアンは静かな心温まる観光地、小さなしゃれたレストラン、みやげ物屋や画廊がある。こうした観光地を目指したらどうか。</p> <p style="text-align: right;">(70代 男性)</p> <p>・一戦場公園に常設グラウンドゴルフ場を設置 グラウンドゴルフは高齢化が進む中でいつでも、どこでも、いつまでも出来る生涯スポーツとして人気が高い。健康増進にも役立ち、多くの市民が利用することにより医療費の節減にも役立つ。</p> <p>また、観光都市を目指す鴨川市として、一戦場は景観を楽しみながら気軽にグラウンドゴルフを楽しめる最適の場所であり、市外の誘客にも大きな効果が見込まれる。加えて、会場設置についても多額の費用を要しない。</p> <p style="text-align: right;">(70代 男性)</p>
若い世代の結婚、出産、子育てについての希望をかなえるために	<p>・若い世代への地方創生アイデア募集PR及び懇談会等への参加呼びかけ 若い世代が懇談会や座談会に参加できるよう、こういった機会に保育、託児を用意してはどうか。また、子どもが親と一緒にいても構わないと気軽に参加できる雰囲気をアピールしたら若い世代が増えるのではないかな。</p> <p>当時者でないと困っていることは分からない場合も多い。</p> <p style="text-align: right;">(50代 女性)</p>
活力があり安心して住める暮らしづくりのために	<p>・鴨川市民からオリンピック選手の輩出を目指す。 千葉県は全国的にも自転車盛んな県であり、オリンピック種目のオフロードバイクに絞り選手の育成を図ってはどうか。 まずは、幼少用ストライダー練習場の設置を望む。</p> <p style="text-align: right;">(30代 男性)</p> <p>・総合運動施設周辺を整備し、運動公園としての機能を強化して欲しい。 ランニング、ウォーキングコースを設置した運動公園として、市民の交流の場や健康増進を図る場として終日開放して欲しい。</p> <p style="text-align: right;">(60代 女性)</p> <p>・朝のラジオ体操の普及促進を 毎朝ラジオ体操の放送を市内全域に流し、地域ごとに広場等に集まって体操を行うことを提案する。 足や腰の悪い人もたくさんいます。市民の健康や、コミュニティづくり等のためにも市民全体で取り組んでいくことが大切だと思う。</p> <p style="text-align: right;">(60代 女性)</p>

	<p>・寝たきり老人への定期的な無料歯科治療を実施する。  歯がよくなると食欲が出て、起き上がれるようになり仕事に復帰したという実体験をテレビで見た。元気になればおのずと町のために協力してくれる。  まずは感謝される道を作って欲しい。</p> <p style="text-align: right;">(60代 女性)</p>
	<p>・バス停留所への腰かけの設置  バスに乗るのは半分は老人であり、切実な願いです。ボランティアで高校生に作ってもらったらどうか。</p> <p style="text-align: right;">(60代 女性)</p>
	<p>・年寄りに墓を(ゆりかごから墓場までは昔の話)  地方創生、鴨川には医療機関の充実によって、高度の医療による安心安全が行われているが、人は必ず死ぬ。  団塊の世代は、地方より都会へ出て日本の高度成長に貢献してきたが、皆年寄りになってきた。  党利、宗派を超えて、風光明媚な高台に 10 万人、100 万人が安価で合祀できるような公園墓地、合葬墓の設置を希望する。</p> <p style="text-align: right;">(60代 男性)</p>
	<p>・ごみの減量化、資源化への取組みを  可燃ごみの 50%削減や、現在可燃ごみとして捨てている樹木等の資源化の検討など、可能な限り、細かな分別収集を行い再資源化を実施すべき。  また、ごみ集積場の集約、整備などを行い、収集効率のアップと環境美化を図る。</p> <p style="text-align: right;">(50代 女性)</p>
	<p>・ひじきや海草を活用したまちづくりを行ってはどうか  NHKの「ひじき」の放送を見た。この強みをもっと活かすべき。  大学研究室などと組んで、ひじきのうまみ成分の分析や健康面、医療面からの分析を行い、確たる根拠が得られればさらに大きく発展するのではないか。  そのほかにも、カジメ、天草、藻などの海藻類もある。こうしたものを活用し、大きな病院もあるし、医、健、食のまちづくりをすすめてはいかがか。</p> <p style="text-align: right;">(70代 男性)</p>

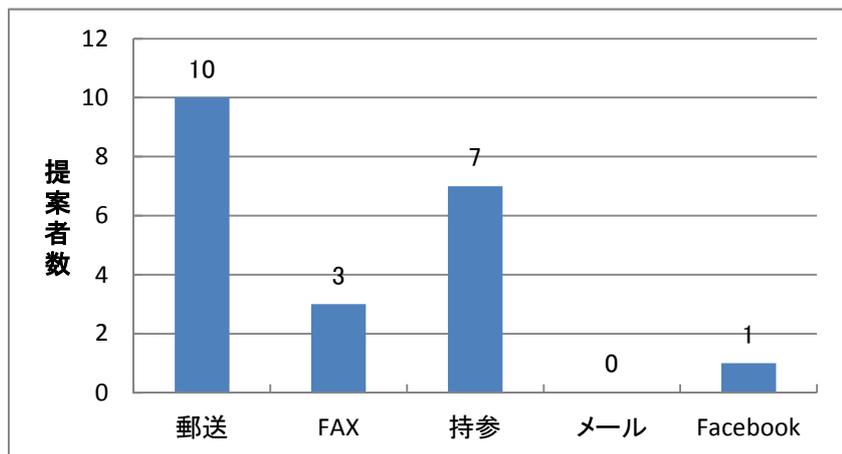
## 1. テーマ別提案件数 中間集計(7/1~7/31)

テーマ	提案件数
雇用の創出	3
人の流れの創出	19
定住促進	0
結婚・出産・子育て	1
暮らしづくり	8
合計	31



## 2. 応募方法別提案者数 中間集計(7/1~7/31)

応募方法	提案者数
郵送	10
FAX	3
持参	7
メール	0
Facebook	1
合計	21



## 3. 年代別提案者数 中間集計(7/1~7/31)

年代	提案者数
30代以下	1
40代	1
50代	2
60代	7
70代	6
80代	4
合計	21

